

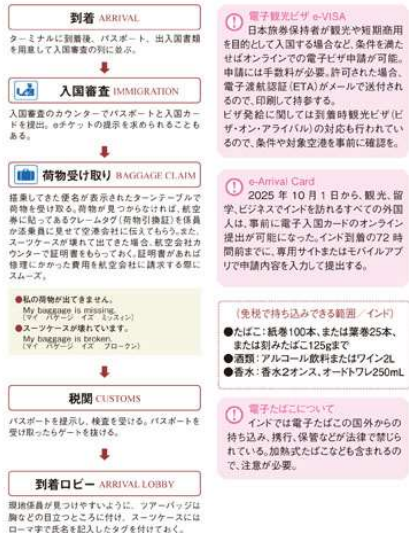
# インド・ネパール



## Point

- ① 気候・服装、お金、通信など旅の必須情報を更新
- ② 宗教・歴史・伝統に関するコラムも掲載しています

### インド入国の流れ



### アグラ AGRA

シャール・ジャハーンが22年の年月をかけて建てたムガル帝国繁栄の象徴タージ・マハルで知られるインド観光のハイライト。



#### タージ・マハル

若くして亡くなった妻ムムタズのために建てた大理石の宝庫。白大理石に施された象眼細工、左右対称の美しさはため息がでるほど美しい。

#### 黒大理石のタージ・マハル？

皇帝シャール・ジャハーンはタージ・マハル完成後、川の反対側に黒大理石で自分の墓を造ろうと計画していたといわれている。しかし、彼は息子のアウラングゼーブによってアグラ城内に幽閉されたタージ・マハルを影で過ごしたという。彼の死後、黒大理石の墓は造られることなくいまは発掘の跡に静かに眠っている。

#### アグラ城

タージのレッド・フォート(ラール・キラー)と並ぶ巨大な城。時の権力者アグラの力をそのままだけにしようとした。力強さをもった建物。

#### ファーター・シークリー



アグラ市内から南西37kmの所にあるアクバルの城跡。預言者の言葉に従ったが、水不足のために14年で再びアグラに遷都した。各宗教の融和を図ったアクバルの王が随所に現れる。



### 釈迦の一生

インドは、仏教が生まれた国。北インドを中心に興った仏教聖地には、現在でも多くの巡礼が訪れる。仏教はどのように生まれ、どのように広まったのか。釈迦の足跡をたどってみよう。

#### 釈迦の生誕地 ルンビニ

釈迦はおよそ2500年前、インドの国境近く、現在のネパール南部にあるルンビニで、シャリヤ族の王子として生まれた。釈迦は生まれて間もなく、天地を指して「天上天下唯我独尊」と言ったという。

#### 釈迦修業の地 ラジギール

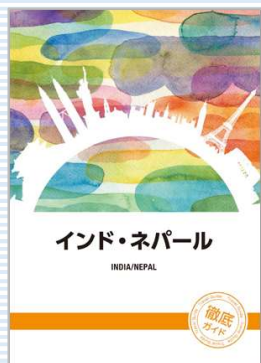
釈迦は王子の座を捨て、求道の道を進むためカピラヴァストの城を出た。向かったのは当時インド最盛のマガダ国の首都である王都。王都を脱した釈迦はラジギールで苦行をした。

#### 悟りを得た地 ブッダガヤ

厳しい修行の末、ブッダガヤの菩提樹の下で瞑想に入った釈迦は、ついに悟りを開いた。現在、釈迦が悟りを開いたとされる場所にはマハーボーディー寺院があり、菩提樹の下には釈迦が坐した金剛座が置かれている。

### インド旅マエのお客様へお伝えしたい事項が充実！

- e-Arrival Card(電子入国カード)のオンライン提出が可能に
- マナーとタブー、写真撮影、喫煙などの現地基本情報を事前
- 「トラブル対策」は、お問い合わせの多い健康と治安情報を網羅



### 商品名 徹底ガイド インド・ネパール

体裁 A5正寸  
48ページ  
コード 10691  
価格 460円(税別)

### 基本情報

インド・ネパール／世界遺産  
気候と服装  
荷物のパッキング  
持ち物チェックリスト  
お金の準備と両替  
海外で通信する  
もしもの時に備える  
持病がある人の準備  
日本出国の流れ  
インド入国の流れ  
インド・ネパールの空港  
出入国書類の準備  
帰国の流れ  
現地基本情報  
トラブル対策／緊急連絡先

### 現地掲載都市

インド  
デリー  
アグラ／ジャイプール  
ウダイプール／ジョドプール／ジャイサルメール  
カジュラホ／バラナシ  
サルナート／コルカタ  
ダーズリン／ムンバイ／アジャンタ  
オーランガバード／エローラ／ゴア  
チェンナイ／南インドの町  
ネパール  
カトマンズ  
パタン／バドガオン(バクタプル)  
ポカラ  
チトワン国立公園